



そだねージャパンよかったたですなあ

そだねージャパン、よかったですなあ。カーリングなんて今まで、あまり見たこともなかったんですが。

「そだねー」はチームのある北海道の北見あたりのことばですか。北海道でも使わないところもあると聞きました。

関西でも、大阪、京都、神戸はそれぞれ違うしね。

なんといっても、チームの名前が方言なのがいいです。

僕らの打ち上げた「まいどー号」も最初はふざけてる、という声もありましたが、おかげさんで、このごろは、ええ名前やったという人が多いです。

チームが、おやつタイムで食べてる、北見のチーズケーキは注文が殺到して、手には足りないそうやし、地元産品の売り上げに、しっかり貢献してます。

似たような現象で、羽生結弦君がつけていたマスク、小平奈緒さんが、筋肉を鍛えるために履いたという一本歯下駄も、よく売れているそうです。

それにしても、途中で栄養を補給せにやならないほど、カーリングというのは、頭つかうんですなあ。

角度を読んで、相手と自分のストーンという駒を氷の上であやつるなんて、すごいもんです。

カーリングは「氷上のチェス」なんて言われるそうですが、ほんまによく考えてやるゲームですなあ。

**ファンのおぼちゃんたちの念が
ケガした足をささえていたんでしよう**

ともかく、平昌冬季オリンピック、日本ようやりました。

最近の若い人はすごいすなあ。

プレッシャーに負けないで、メダルを取る言うたら本当にとる。

羽生結弦君なんか、足ケガしたのに、「僕はオリンピックを知っています」なんて強気なこと言うて、大丈夫なんかいな、とも思っていました、見事でした。

ファンのおぼちゃんたち——これ関西弁で親しみこめてってます。誤解せんようにね——が、大きな画面に向かって「ユズー！」と叫んで、折ってましたが、あのみなさんの念が、けがした足をささえていたんでしよう。足も元気になるわな。スノボーで銀メダルを獲った平野歩夢君の言葉も、印象に残りました。

確か「くやしさが残っているんで、それを晴らすためにゼロからやりたい」なんて……まだ一九才ですぜ、この子。

それで前の大会と連続で銀メダルを獲得してます。アメリカ



●(株)アオキ取締役会長
青木 豊彦 (あおき・とよひこ)



1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし、人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。現在は(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。

**多種多様な人間がでてきてるの
違いますか?**

のシオン・ホワイトというベテラン選手に負けたそうですが、なんともたいしたもんです。

ゆとり世代という言い方がありません。どちらかと言うと、軽んじてる言い方だと思います。

この世代は、どこからどこまではようわかりませんが、十代、二十代、そして三十代チヨボチヨボまで入るんだらうと思います。

今回のオリンピックでは、このゆとり世代、つまり若い人の活躍見てたら、大きな大会の雰囲気押しつぶされることなく、淡々と競技やっています。

僕ら高齢者には、考えられないことです。テレビで中継を見ただけで、緊張してしまいます。

オリンピックばかりではありません。

僕の知り合いで、高校中退してスマホを使っているいろいろ勉強して、それこそ今話題の仮想通貨コインで億万長者になった二十代の青年がおります。

一方で、金にこだわらずNPO法人つくって人のために尽くしてる若い子もいるし……。

それこそ最近よく聞くダイバーシティ、多様性と訳すんですか。わざわざカタカナつかわんでも、日本には多種多様な人間がでてきてると違いますか?

僕らは、大きな組織や学校にどうしても頼る傾向があります。

どっつかいうと年齢の高い世代は、理屈や建前で生きてるとこありますなあ。これ反省こめてですけれど。

けれど、若い世代はそんなものに頼らず、それこそスマホ一つで、物事を黙々と成し遂げていくようなところあります。

金やない、地位やない、そんなこと気にせんと、さまざまな生き方する日本人がうけて出てきたら面白いと思いますか。

そう思うて世の中見たら捨てたもんやないと思いますが、いかがでしょう。

「青木さん。目の付けどころはええし、確かにそうかもしれないけど、ご本人は、いまだにスマホようつかいませんなあ。アッ、大きいならへん。わっ、画面がきえてしもうた。なんて、しよっちゅう騒いでますやないか」。

いつも、余計なところに出てくる東京のおっちゃんか言うてます。

自分は、ガラケーしか持ってないのによ言うわ(笑い)。



(撮影: 氏野光子)

●羽生結弦選手の名前に似ているとファンが集まる神戸市の弓弦羽神社